

<長崎市第四次総合計画後期基本計画>

【個別施策】

G1-1

確かな学力の向上

学校教育目標「光り、輝く、チーム南陽小」

合言葉：考えよう、語り合おう<自分で・みんなで・楽しみながら・最後まで

<めざす児童像> ○「事」課題を自分事としてとらえ、自分のよさを生かしながら粘り強く解決に取り組む子ども

○「胆」心身の安全・健康を意識し、自身の長所を臆せず発揮する子ども

○「人」社会の一員であることを自覚し、よりよい社会とのかかわり方を身につけようとする子ども

<研究主題> 協働的な学びの中で、自分の思いを表出することができる子供の育成

（副主題）低学年部：つながりを通して学びを深める

中学年部：算数科における学び合いを生かして確かな学力をつけるために

高学年部：グループ活動の効果的な進め方

家庭・地域の思い

令和の日本型教育の構築

【「めあて」と「まとめ」が子供に届く授業】

- ・ 「まとめ」→「めあて」の順で授業を構想する。
- ・ 「大きな目的（単元のめあて）」と「小さな目的（本時のめあて）」を意識した単元構成を行う。
- ・ 子供の思いや願いを引き出し、一緒に「めあて」を設定する。
- ・ 子供の言葉を生かして、一緒に「まとめ」る。
- ・ 全文シートの活用。
- ・ デジタル教科書の活用。

【ねらいに即した「書く活動」を重視する授業】

- ・ 文章量の目安や書き方のモデルを提示し、子供の考えを文章で書かせる。
- ・ 主語と述語を明確にして書かせる。
- ・ ノートだけでなく、ワークシートや ICT 機器を活用し、可視化させる。
- ・ 条件付き作文の指導を行う。
- ・ 書いた文章を見直す時のチェックリストの作成。

【「協働的な学び」・「学習規律の徹底」により安心して学べる授業】

- ・ 授業のUD化のため、「わいわいタイム」を行う。「広げるわいわいタイム」…いろいろな考えを知る。伝える。（情報交流）
- ・ 「深めるわいわいタイム」…正しい答えや根拠を導き出す。（情報共有）
- ・ 教室環境のUD化…必要最小限な全面掲示。暗黙のルールなど、見えないものを可視化する。
- ・ 人的環境のUD化…特別支援教育に関する研修。ソーシャルスキルトレーニング。教師の好意に満ちた語り掛け。

<学力調査から見た「南陽っ子」の特徴>

（国語科）前年度の学力調査結果と比較すると、やや伸びが見られるものの、読解力（特に書く力）に課題がある。

（算数科）各学年ともに、全体的に課題が見られる。特に、思考力・判断力・表現力が問われる問題の正答率が低い傾向にある。